

## F9 ラチュウビ La TURBIE

ラチュウビの岩場はモナコの岩場として知られている。モナコの街の裏山に石灰岩の岩壁がせり出して目で分かる。日本ではあまりなじみがないが、かなり古くから登られている。この岩場は非常に大きく、エリアの数は15にもおよび、ルート数は300本を超えている。グレート的にも初級者から上級者まで楽しめる。ピクベと呼ばれるエリア以外はスラブから薄かぶりのエリアが多く、持久力を試される長いルートがとても多い。モナコ聞いて暑いイメージがあるが6月でも昼からは日陰になり丁度良い。何れも先景色がすばらしい。すぐ真下にモナコの街が広がり地中海が見渡せる。南仏に来た多くの日本人クライマーはモナコ観光に来ている。ぜひ観光だけでなく岩場にも寄ってみて欲しい。すばらしい景色の中でのクライミングを満喫できる。



岩質  
石灰岩

### ルート

エリアの数は15にもおよび、私たちが訪れたグランドフェイスとピクベについてのみ説明する。岩場はモナコの街の裏にそびえるように立っていて高さは約50メートル以上はある。ルートはその下部半分くらいの所に無数に築かれている。まず、グランドフェイスは非常にコルネが発達していて、持久力を試されるルートが多い。傾斜は100度程度で非常に長く60メートルロープがあった方がよい。特に5・12台前半が多くそろっている。

このエリアがこの岩場のメインエリアといってもいいだろう。次に海に向かって右端の巨大な洞穴があるのがピクベである。このエリアの洞穴は見た目にもすごいのだが、あまりルート数はないので、それほど遊べないだろう。お勧めはルートはレスの裏を進む5.12b/7b。これらのエリアはボルトが最近打ち代えられて安心してトライできる。

### 宿泊

お金に余裕があるならそこから中にホテルがある。キャンプ場もたくさんある。

### シーズン

1年中。ただし冬場は日が陰るとかなり寒そう。午後から日が陰る。少々の降り始めの雨なら登れる。

### ショッピング トポ

岩場に行く前に買出ししてから行くこと。スーパーなどはモナコやニースに行くだけでもある。

トポはニース周辺の岩場がAlpes-maritimesという名前を出ている。ニースにあるクライミングショップで手に入る。

### アプローチ

LA-TURBIEの町は丁度モナコの上にあたる。モナコ周辺はとても道が入り組んでいてややこしいが、N7号沿いからは何本かラチュウビに登る道がある。反対に高速道路A8号からはLA-TURBIEのインターで降りてLA-TURBIEの町を目指す。LA-TURBIEの町からモナコを下る道の途中から電波通信施設に登る道に入る。終点の広場に車を止める。そこはモナコの街が見渡せる高台になっていて、丁度岩場の真上にあたる。広場から右下にある踏み跡をたどりトンネルをくぐると広場に出る。そこから左下に降りる急なくだり坂がある。(わかりづらい)途中クサリやフィックスロープもある。

特に前記したトポを見ても絶対にたどり着けない。グランドフェイスまでは15分ほどかかる。

99年春 木村伸介 99年秋 内藤直也